

日本手話による教養科目が、単位互換で、あなたの大学の単位とみなされます！！

ご挨拶

日本社会事業大学(文京キャンパス)では日本手話によるろう者によるろう者のための講義を提供します。講師はすべて各分野の研究において日本で第一人者であるろう者です。履修しやすい夕方以降の時間、あるいは土曜日に授業を配置していますので文京キャンパスにお集まりください。単位互換制度がある大学に在学していれば、在学している大学の単位になります。在学している大学で手続きをしてから履修の申し込みをしてください。同時に日本社会事業大学(清瀬キャンパス)では聴者の教授陣の授業にプロの手話通訳者・パソコンテイク等による情報保障をつけて提供しています。これらのプログラムは「日本社会事業大学聴覚障害学生支援プロジェクト」として日本財団にご支援いただいております。



企画担当
斉藤くるみ(日本社会事業大学社会福祉学部教授)
kurumi@jcsu.ac.jp
1990年国際基督教大学大学院卒。
'88~'89、'93~'94 ケンブリッジ大学客員研究員。
PhD in Education (教育学博士)。
著書: *Nominal Modification in Old English* (=古英語の名詞修飾) (UMI Michigan, USA)、『視覚言語の世界』(彩流社)、『少数言語としての手話』(東京大学出版会)他

講師紹介



森 壮也 (アジア経済研究所主任調査研究員、元東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)、早稲田大学大学院卒、1992-1994年 ロチェスター大学 (UR) 留学、1995年ニュー・メキシコ大学留学、国際開発学会特別賞受賞、第17回国際開発大来賞受賞、日本手話学会前会長、『手話学研究』編集委員長
著書: 森壮也・山形辰史『障害と開発の実証分析—社会モデルの観点から』勁草書房 (国際開発大来賞受賞)
訳書: 『「ろう文化の内側」から』(明石書店) 他



田門 浩 (弁護士)
1967年福島市出生。生まれつき聾者。
1990年3月東京大学法学部卒業。2003年ギャロデット大学留学。1991年4月から1996年3月まで千葉市役所勤務。1995年10月に司法試験合格。1998年4月弁護士登録。東京弁護士会所属。都民総合法律事務所勤務。神奈川県川崎市在住。



袖山 由美 (アメリカ手話通訳、国際手話通訳、キッズイングリッシュ教室) ギャロデット大学 (学士)、サンフランシスコ州立大 (修士) 著書: 『ろうのゆんみがUSAでサランヘヨ』『ろうのゆんみがピーター・ウーマン浦島花子になる』『心の鏡』(以上すべて新風社)、『私は心を伝える犬』(ハート出版)、漫画『サミーに優しい台湾』『天使からの贈り物』。東映教育映画「みみをすます」「あたたかい心ありがとう」主演。聴導犬と暮らす。



霽境 (舞踏家、霽・主宰)
2000年東京藝術大学大学院博士課程修了、美術博士号取得。大学院在籍中、「舞踏工房 若衆」主宰・鶴山欣也の誘いを受け、舞踏を始める。国内、スペイン、ペルー、ノルウェー、韓国などの海外で公演、ワークショップを行う。2013年アニエス b. 初監督映画 *Je m'appelle Hmmm...* (邦題: 『私の名前は…』) に出演。



福島 智 (大学教授)
東京都立大学 (現・首都大学東京) 人文学部卒業。盲ろう者として日本初の大学進学者。
東京大学先端科学技術研究センターバリアフリー分野教授。



川上 恵 (沖縄聴覚障害者情報センター)
ギャロデット大学大学院通訳修士課程修了 (M. A. I)
論文: *Deaf Interpreter Space*
The Ronald L. Coffey Award 受賞



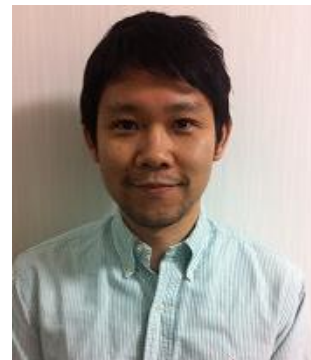
佐野 正信 (翻訳家)
明治大学大学院卒。O・サックス『手話の世界へ』(晶文社)で毎日出版文化賞受賞。他の訳書にK・ストロング『田中正造伝』(晶文社)、N・E・グロース『みんなが手話で話した島』(築地書館)などがある。D・ハーマン *Helen Keller — A Life* の邦訳を明石書店より刊行の予定。



末森 明夫 (産業技術総合研究所生物機能工学研究部門主任研究員)
東京大学大学院卒、農学博士、(1996年ロンドン大学 Kings College London 留学) 博士論文題目: *Rhodococcus erythropolis* S1 株による芳香族化合物の分解
現在の研究課題: 「準加算性適応歩行法による蛋白質の改変」



中野 聡子 (広島大学アクセシビリティセンター 特任講師)
筑波大学大学院卒 ('96-'97 ギャロデット大学留学)。博士 (心身障害学)。日本初聾者自身による手話研究での博士号授与となる。著書: 『大人の手話・子どもの手話-手話にみる空間認知の発達』(明石書店) 等。現在は聾者の字幕の読みについての研究に従事し、聾者にとって読みやすい音声認識字幕の呈示方法に取り組んでいる。



高山 亨太 (ギャロデット大学ソーシャルワーク学部専任教員、精神保健福祉士・社会福祉士)
筑波大学大学院、ギャロデット大学大学院修了。日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会元事務局長、手話で語る心理臨床研究会幹事、障害学会理事。ろう者の精神保健に関する研究やスクールソーシャルワーカーの養成に取り組んでいる。



森 亜美 (英語・アメリカ手話教師)
早稲田大学第一文学部史学科西洋史学専修卒。ニューヨーク州ロチェスター大学で社会言語学聴講。
訳書にキャロル・パッデン、トム・ハンフリーズ「ろう文化案内」(晶文社)、「ろう文化の内側から」(明石書店)(森壮也と共訳)がある。
現在筑波技術大学、日本社会事業大学アメリカ手話の非常勤講師。東京都聴力障害者情報文化センター英語教室講師。